

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 …… 原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 …… 建物附属設備は定額法、什器備品は定率法
ソフトウェア …… 定額法
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金：従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。
退職給付引当金：期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
賃借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	599,395,050	0	0	599,395,050
定期預金	604,950	0	0	604,950
小 計	600,000,000	0	0	600,000,000
特定資産				
DB事業特定資産	5,415,150	0	2,592,364	2,822,786
がんフェア事業特定資産	5,752,631	0	5,752,631	0
幹細胞研究事業特定資産	3,000,000	0	2,899,052	100,948
公益事業推進資産	80,000,000	0	80,000,000	0
退職給付引当資産	54,421,200	42,871,400	54,421,200	42,871,400
小 計	148,588,981	42,871,400	145,665,247	45,795,134
合 計	748,588,981	42,871,400	145,665,247	645,795,134

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	599,395,050	(599,395,050)	(0)	(0)
定期預金	604,950	(604,950)	(0)	(0)
小 計	600,000,000	(600,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
DB事業特定資産	2,822,786	(0)	(2,822,786)	(0)
がんフェア事業特定資産	0	(0)	(0)	(0)
幹細胞研究事業特定資産	100,948	(100,948)	(0)	(0)
公益事業推進資産	0	(0)	(0)	(0)
退職給付引当資産	42,871,400	(0)	(0)	(42,871,400)
小 計	45,795,134	(100,948)	(2,822,786)	(42,871,400)
合 計	645,795,134	(600,100,948)	(2,822,786)	(42,871,400)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	8,518,167	95,116	8,423,051
什器備品	2,568,620	2,089,814	478,806
ソフトウェア	196,997,281	196,997,281	0
合 計	208,084,068	199,182,211	8,901,857

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
62回利付国庫債券 (30年)	197,160,000	152,960,000	△ 44,200,000
177回利付国庫債券 (20年)	99,640,000	85,820,000	△ 13,820,000
365回利付国庫債券 (10年)	64,374,050	62,829,000	△ 1,545,050
機構債			
65回国際協力機構債	100,000,000	95,910,000	△ 4,090,000
社 債			
9回東急社債	40,000,000	39,696,000	△ 304,000
159回東日本旅客鉄道社債	98,221,000	75,000,000	△ 23,221,000
合 計	599,395,050	512,215,000	△ 87,180,050

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
経常費用を補填するための振替額	10,327,053
合 計	10,327,053